

貸金庫規定

第1条(格納品の範囲)

- (1) 貸金庫には、次に挙げるものを格納することができます。
- ① 公社債券、株券その他の有価証券
 - ② 預金通帳・証書、契約証書、権利書その他の重要書類
 - ③ 貴金属、宝石その他の貴重品 但し、壊れやすいものは格納できません。
 - ④ 前各号に挙げるものに準ずると認められるもの
- (2) 当組合は前項各号に挙げるものについても、相当の理由があるときは格納をお断りすることがあります。

第2条(契約期間等)

この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する3月末日までとし、契約期間満了日までに借主または当組合から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から1年間継続されるものとします。継続後も同様とします。

第3条(使用料)

- (1) 貸金庫の使用料は、貸金庫使用料金表記載の料率により1年分を前払いするものとし、毎年4月の当組合所定の日に、借主が指定した預金口座から、通帳および払戻請求書または小切手によらず、自動引落しの方法により払戻しのうえ使用料に充当し、原則として領収証等の発行を行いません。なお、当初契約期間の使用料は、契約時に契約日の属する月を1ヵ月としてその日から月割計算により前記自動引落しの方法で支払ってください。
- (2) 使用料は諸般の情勢により通知なしに変更することがあります。変更後の使用料は、変更日以後最初に継続される契約期間から適用します。
- (3) 契約期間中に解約があった場合は、解約日の属する月の翌月から期間満了日までに使用料を月割計算により返戻します。

第4条(鍵の貸与・保管)

- (1) 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は当組合立会いのうえ借主が届出の印章により封印し、当組合が保管します。

第5条(貸金庫の開閉等)

- (1) 貸金庫の開閉は、借主または代理人が行ってください。
- (2) 貸金庫の開閉は、窓口営業時間内に受付けます。
- (3) 貸金庫の開閉は、「貸金庫開閉函票」に署名（または記名）、印章により押印のうえ、提出してください。

第6条(届出事項の変更等)

- (1) 届出印、名称、代表者、代理人、住所その他の届出事項に変更があったときは、直ちに書面によって当店に届出てください。この届出の前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。
- (2) 届出のあった名称、住所にあてて当組合が通知または送付書類を発送した場合には、延着しまたは到達しなかったときでも通常到達すべき時に到達したものとみなします。

第8条(印章、鍵の喪失時等の取扱い)

- (1) 届出印、正鍵を失った場合の貸金庫の開閉は、当組合所定の手続をした後に行ってください。この場合、相当の期間をおき、また、保証人を求めることがあります。
- (2) 正鍵を失った場合またはき損した場合は、鍵前等の取替えに要する費用を支払ってください。なお、当組合が貸金庫の変更を求めたときは、直ちにこれに応じてください。

第9条(印鑑照合等)

諸届その他の貸金庫取引に関する書類に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて開庫その他の取扱いをしましたうへは、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。なお、使用される鍵について当組合は確認する義務を負いません。

第10条 損害の負担等

- (1) 火災、事変その他の不可抗力の事由または当組合の責めによらない事由により、貸金庫設備の故障等が発生した場合には、貸金庫の開閉に応じられないことがあります。このために生じた損害については当組合は責任を負いません。
- (2) 前項の事由による格納品の紛失、滅失、き損、変質等の損害についても当組合は責任を負いません。
- (3) 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当組合または第三者が損害をうけたときは、その損害を賠償してください。

第11条(反社会的勢力との取引拒絶)

この貸金庫は、第12条(3)①AからFおよび②AからEのいずれにも該当しない場合に使用することができ、第12条(3)①AからFまたは②AからEの一にでも該当する場合には、当組合はこの貸金庫の使用申込みをお断りするものとします。

第12条(解約等)

- (1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。この場合、正鍵および届出の印章を持参し、当組合所定の手続をしたうえで貸金庫を直ちに明渡してください。なお、正鍵または届出の印章等を失った場合に解約するときは、このほか第8条に準じて取扱います。
- (2) 次の各号の1つにでも該当する場合には、当組合はいつでもこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合から解約の通知があったときは、直ちに前項と同様の手続をしたうえで貸金庫を明渡してください。第2条により契約期間満了し、契約が更新されないときも同様とします。
 - ① 借主が使用料を支払わないとき
 - ② 借主について相続の開始があったとき
 - ③ 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当組合もしくは第三者に損害を与えまたはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき
 - ④ 店舗の改築、閉鎖その他相当の事由があるとき
 - ⑤ 借主または代理人がこの規定に違反したとき
- (3) 前記(1)から(2)のほか、次の各号の一にでも該当し、借主との取引を継続することが不適切である場合には、当組合はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合から解約の通知があったときは、直ちに(1)と同様の手続をしたうえで貸金庫を明渡してください。
 - ① 借主または代理人が、次のいずれかに該当することが判明した場合
 - A 暴力団
 - B 暴力団員
 - C 暴力団準構成員
 - D 暴力団関係企業
 - E 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等
 - F その他前各号に準ずる者
 - ② 借主または代理人が、自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為をした場合
 - A 暴力的な要求行為
 - B 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - C 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為

D 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当組合の信用を毀損し、または当組合の業務を妨害する行為

E その他前各号に準ずる行為

- (4) 前記(1)から(3)明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌日から明渡しの日属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。この場合、第3条(3)に基づく返戻金は、遅延損害金に充当します。不足額が生じたときは直ちに支払ってください。なお、当組合はこの不足額を明渡しの日第3条(1)の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。
- (5) 前記(1)から(3)の明渡しが3ヵ月以上遅延したときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開庫のうえ、格納品を別途管理もしくは当組合が適切と判断する方法、時期、価格等により処分し、または処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。なお、当組合は貸金庫の開庫に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。これらに要する費用は借主の負担とします。
- (6) 使用料、遅延損害金その他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前項の処分代金をこれに充当することができるものとします。この場合、不足額が生じたときは、当組合からの請求がありしだい支払ってください。

第13条(貸金庫の修繕、移転等)

貸金庫の修繕、または移転その他やむを得ない事情により、当組合が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、直ちにこれに応じてください。

第14条(緊急措置)

法令に定めるところにより貸金庫の開庫を求められたとき又は店舗の火災、格納品の異変等緊急を要するときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開庫し臨機の処置をすることができるものとします。このために生じた損害については、当組合は責任を負いません。

第15条(譲渡、転貸等の禁止)

貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入れすることはできません。

第16条(規定の変更)

- (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当組合ウェブサイトへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
- (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以 上